

スマートシティYAIZU推進方針（案）

令和5年12月
焼津市

目次

1. 策定の背景・趣旨

- 1-1. 策定の背景と目的
- 1-2. 位置付け
- 1-3. 焼津市の現状と特性
- 1-4. スマートシティYAIZUのこれまでの取り組み

2. 課題と解決の方向性

- 2-1. 各分野の課題と解決の方向性

3. 基本方針

- 3-1. 基本理念・基本原則
- 3-2. コンセプト
- 3-3. スマートシティYAIZUが目指すサービスのあり方①②
- 3-4. 未来のありたい姿（ビジョンマップ）

4. 取組方針

- 4-1. 各分野の施策方針・ロードマップと個別施策
- 4-2. 地域幸福度（Well-being）向上に繋がる
スマートシティを目指して

5. 推進体制

- 5-1. スマートシティYAIZU推進協議会

参考資料

- ・市民アンケート結果
- ・市民ワークショップ開催報告
- ・オンラインプラットフォームでの市民意見収集

1-1. 策定の背景と目的



スマートシティの取組状況と推進方針策定の目的

- 焼津市では、令和3年に焼津市DX推進計画を策定し、「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」をビジョンに掲げ、スマートシティYAIZUの取り組みを開始しました。
- 令和4年には官民連携の推進組織として、焼津市スマートシティ推進検討会を発足。オープンデータ連携基盤を構築し、データや先端技術を活用した、新たな市民サービスの提供をスタートしています。
- この取り組みを一層進めていくため、焼津の魅力を高め、持続可能なまちとしての「スマートシティYAIZU」の将来像と、それを実現するために必要な考え方や施策をまとめた「スマートシティYAIZU推進方針」を策定します。



焼津らしさ

- 漁業・水産業やものづくりが盛んで、観光資源が豊富
- 平坦な土地、雪が降らず温暖な気候など、過ごしやすい自然環境
- 暮らしやすく、子育てしやすい
- 首都圏と中京圏の中間にあり、訪れやすい立地
- 移住者が増えつつあり、若者活躍のポテンシャルがある



焼津市を取り巻く環境変化

社会情勢

- 少子高齢化・人口減少による労働力不足
- 都市部一極集中と地域のつながりの希薄化
- 気候変動と災害激甚化
- AI, IoT, ビッグデータなどデジタル技術の進展、実用化

市民の価値観

- アフターコロナの新たな生活様式や移住への関心の高まり
- SDGsの認知度向上に伴う持続性や環境問題への意識
- ワークライフバランスやテレワークによる柔軟な働き方の浸透
- 価格重視からこだわり志向、ニーズが多様化した消費行動

国の動向

- デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月閣議決定)
- 幸福度、豊かさを計測するWell-Being指標の活用
- Society5.0によるテクノロジーを活用した新たな社会の実現
- 産官学による「スマートシティ官民連携プラットフォーム」設立

1-2. 位置付け

- スマートシティYAIZU推進方針は、「焼津市DX推進計画」のリーディングプロジェクト2“官民データ活用組織の構築”の具体的な取り組みを示すものです。
- 第6次焼津市総合計画の6つの政策分野を横断的にとらえ、焼津市デジタル田園都市構想総合戦略(仮称)とも整合性を取りながら、DX推進計画の計画期間である令和7年度末までに優先的に取り組む事項を整理し、令和9年度までのロードマップを策定しました。



◎ 令和3年11月に策定した「焼津市DX推進計画」の各政策分野の取り組み内容については、本方針の中で一部更新してします。

◎ 「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」(仮称)の横断的目標の1つにスマートシティの実現を盛り込む予定であり、一体的な推進を行います。

◎ 今後のデジタル技術の進展や社会情勢等の変化が生じた際には、必要に応じ方針の見直しを行うこととします。

年度	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028
総合計画	第6次焼津市総合計画			次期焼津市総合計画			
総合戦略	第2期焼津未来総合戦略 (2020-2024)			焼津市デジタル田園都市構想総合戦略 (仮称)			
DX推進計画	DX推進計画			次期DX推進計画			
推進方針	スマートシティYAIZU推進方針						

1-3. 焼津市の現状と特性

- 日本武尊の伝承を「焼津」の地名の由来とする歴史文化を持ち、現在は日本有数の焼津漁港がある、陸海空ともに交通・輸送の利便性に優れた地域です。「住み続けたい住んでみたい行ってみたいまち焼津」と思えるまちづくりを目指しています。

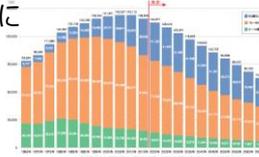
地理と交通



- 京浜・中京のほぼ中間に位置し、市域は70.3 km²、東西に狭く南北に長く、コンパクト。
- 古代東海道の推定地があり、中世に港が整備されるなど、古来から交通の要所。
- 東海道本線の焼津駅と、人口増加により、西焼津駅を設置。
- 富士山静岡空港からは市域のほとんどが20km圏内に含まれるなど、物流や観光交流に資する利便性が向上。

人口

- 人口は2010年をピークに減少し、2020年の人口は134,977人。将来の推計人口は、2060年には約43%減少、2065年にはピーク時の約52%になるとの予測。
- 総世帯数は増加傾向にあるが、世帯あたりの人口は減少傾向。



地域経済と産業



- 焼津港はマグロやカツオの水揚げで知られ、水揚量・金額ともに日本屈指の港。
- 漁獲量の増加は水産加工業の発展を促し、鰹節などの名産品が多数。
- 焼津市全域に豊富な伏流水が流れており、全国的に有名な酒造メーカーが存在。

観光

- 全国的に「さかなのまち」として知られ、豊富な海の幸と水産加工品のほか、魚河岸シャツなどの漁業関連商品も注目。
- 食文化や港町特有の文化を活かした観光や体験プログラムもある。
- 北部の山間地には、花沢の里などから高草山へ登るハイキング道を整備。



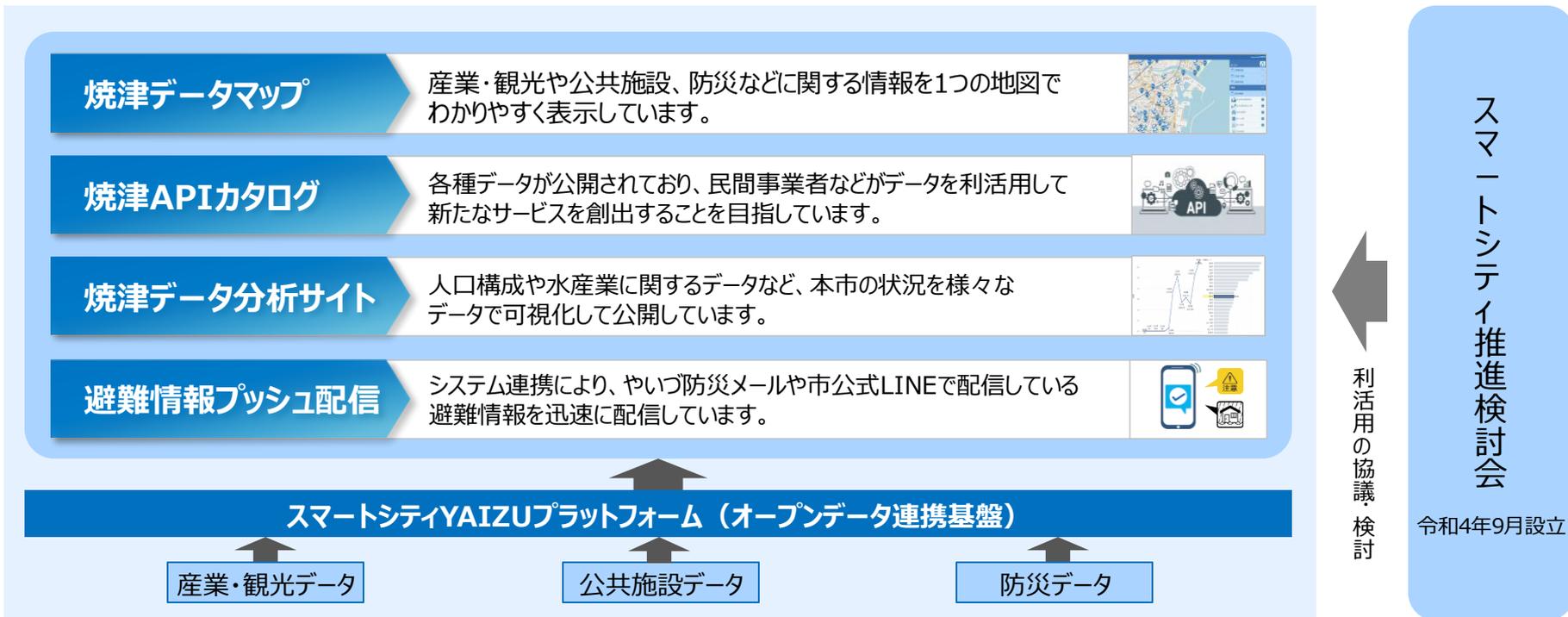
歴史と文化

- 日本武尊の伝承地や、徳川家康に関する古文書等の資料、史跡、伝説などがある。
- 焼津神社大祭は東海一の荒祭として知られている。
- 大井八幡宮で毎年奉納される田遊びの舞は千年以上の歴史がある国の重要無形民俗文化財。



1-4. スマートシティYAIZUのこれまでの取り組み

- スマートシティYAIZUでは、地域課題の解決や新たな価値・サービスの創出による市民のWell-Being向上を目指し、ICTなどの新しい技術やデータを活用し、市民の生活をより便利で快適にする取り組みを推進しています。またこれまでスマートシティYAIZUプラットフォーム（オープンデータ連携基盤）で収集した産業や観光、防災のデータを活用し、4つのサービスをリリースしました。さらに、スマートシティ推進検討会を立ち上げ、データ利活用について協議を進めています。



2-1. 課題と解決の方向性

(1) 健康・医療・福祉

課題

- ・ やいづ健康マイレージのデジタルサービス化
- ・ 焼津市立総合病院との各種データ連携
- ・ 健康・医療・福祉の情報一元化、重層的な支援
- ・ アナログではなくオンラインによる情報発信
- ・ 医療機関へのオンライン診療やAIを活用した受診の支援
- ・ 高齢者や障がい者、要支援者へのデジタルデバイド対策や社会福祉の充実
- ・ 引きこもり数や市民の食生活など市民生活の実態把握
- ・ 高齢者の活動機会の提供、活動への仲間づくり支援
- ・ 民間事業者との連携強化
- ・ 職員のデジタルスキル向上、デジタル化推進の人材育成

目指す方向性

- ・ 健康状態を把握できる仕組みづくり。
- ・ 健康づくりや介護予防の取り組みが可視化され、市民特典が付与される。
- ・ アプリ等で健診データの確認や、予防接種の予約ができる。
- ・ オンライン診療や医療相談を受けることができる。
- ・ 自分に必要な支援がすぐに受けられる。
- ・ 友だちづくりができる。市民同士で繋がりを持てる。
- ・ 繋がりを持つことで、地域全体で高齢者や要支援者等の見守りができる。

(2) 子育て・教育

課題

- ・ 小中学校の全教室のWi-Fi整備、インフラ整備に伴う学習環境の平準化
- ・ デジタルを活用した学習の拡充
- ・ 相談業務（記録や履歴確認など）におけるデジタル活用
- ・ 学校と保護者間連絡や個別通知のデジタル化
- ・ 外国人児童の受け入れ促進、おたよりの多言語対応
- ・ 待機児童の解消、保育園の充足、保育士の確保
- ・ 保育園空き状況の自動通知
- ・ 放課後児童クラブへの給食提供
- ・ デジタルコンテンツによるふるさと教育実施、郷土愛の醸成

目指す方向性

- ・ すべての家庭でオンライン環境が整っている。
- ・ AIを活用したデジタル学習ができる。
- ・ 地域の人が学校に入り、子どもたちの学びに関われる。
- ・ 学校とオンラインでやり取りができる。
- ・ 子育て世帯が困ったときにオンラインで相談したり、身近に頼れる人がいる。
- ・ 共働き家庭の子が安心して過ごせる放課後の居場所がある。
- ・ デジタルを使った工場見学など、本市の学びの情報が簡単に手に入る。

2-1. 課題と解決の方向性

(3) 生きがい・文化・スポーツ

課題

- ・ 施設予約状況の見える化、システムの運用見直し、利便性向上
- ・ 自宅にいながら施設利用手続きや活動ができる仕組みづくり
- ・ デジタル市民講座やデジタル回覧板の検討
- ・ メタバースなどデジタル空間を活用したイベントや資料閲覧の実施
- ・ 小泉八雲のブランド化、デジタルアーカイブの推進
- ・ スポーツのきっかけづくりや仲間づくり支援
- ・ 地域交流センターの有効活用に向けた認知度と利用率向上
- ・ 気軽に多世代交流できるコミュニティづくり
- ・ 市主催イベントへの若者の参加促進
- ・ 若者、働き手、高齢者が、支え合う機会が少ない

目指す方向性

- ・ 市役所に行かなくても、家にいながら施設利用手続きができる。
- ・ 仮想空間でスポーツや歴史資料などが楽しめる。
- ・ 市民のだれもが快適にスポーツを楽しんだり、海釣りや山登りにチャレンジできる。子どもは外で元気いっぱい遊べる。
- ・ 高齢者や同じ趣味の人が気軽に集い、世代を超えて交流できる場所、仕組みがある。
- ・ 若者が焼津に集まり、長く住みたいと思えるまちづくりがされている。

(4) 産業・観光

課題

- ・ 焼津駅前の活性化
- ・ 漁港や魚食を活かした観光コース立案、観光案内人の整備
- ・ 水産業や産業観光のコンテンツ作り、焼津ならでの名産品や体験価値付与
- ・ ビジネスマッチングなど企業間交流、焼津ブランド価値向上
- ・ 点在する観光施設への移動手段確保（グリスロ拡大やシェアサイクル等）
- ・ 事業用地の確保、商業施設や大学、スタートアップ企業等の誘致
- ・ 市内外企業のマッチングによる地場産業の強化・拡大
- ・ ふるさと納税データの活用、地域ポイント・地域通貨の検討

目指す方向性

- ・ 焼津駅から焼津漁港への人通りに活気がある。
- ・ 観光客が多く、賑わいのあるまちづくり。SNSで焼津が話題になっている。
- ・ 焼津版おてつたび（観光×お手伝い）のデジタルサービスで、人手不足が解消。
- ・ デジタルを活用して、焼津ならではの食や文化体験を提供する。
- ・ シェアサイクルなどの拠点がたくさんあり、快適・安全に移動できる。
- ・ 地域密着だけでなく、地元企業が世界に向けてビジネスを展開し、産業の新陳代謝が進んでいる。
- ・ データ利活用や6次産業化が進み、地元経済が潤っている。

2-1. 課題と解決の方向性

(5) 防災・都市・環境

課題

- ・ 統合GIS、被災者支援システム更新に伴い、災害・避難情報発信の効率化
- ・ 災害時パトロールの安全性の確保
- ・ 河川や水路の異常検知とWeb情報開示
- ・ 混雑や工事、浸水被害による道路状況のリアルタイム通知
- ・ 建物管理や、ごみ集積所・不法投棄場所の管理などデジタル活用の検討
- ・ ミニステーションの全日開放や回収物拡大、喫煙禁止エリア検討
- ・ ごみ分別のAI活用、ごみポイ捨て監視、ごみの自動収集
- ・ 交通手段の多様化、駐輪場不足解消、バス路線維持確保
- ・ 大井川地区の交通の便を改善

目指す方向性

- ・ カメラなどを活用し、災害パトロール時における安全を確保する。
- ・ 気象及び洪水情報の高度化に伴う、最適な避難所案内・災害情報を地図上で可視化できる。
- ・ 自動運転バスの周回、小型タクシー、シェアサイクルなど市内の移動交通を確保
- ・ 道路河川の異常検知システムによる監視により、環境美化が進む。
- ・ AIを活用したごみの分別やごみ量計測により排出量を見える化し、CO₂の排出抑制、循環型社会を構築する。

(6) 市民協働・DX・行政運営

課題

- ・ 庁内システムの統一もしくは庁内情報を連携し共有、見える化を推進
- ・ 申請業務、システム操作マニュアルのデジタル化、オンライン相談の実現
- ・ パーソナルデータの利活用
- ・ 通信環境・デジタルインフラの整備やデジタルリテラシーの向上
- ・ 自治会区域等を示したデジタル地図、電子回覧板による自治会員の負担軽減
- ・ まちづくりコーディネーターの育成
- ・ 通訳・翻訳業務のデジタル活用
- ・ 広報紙やSNSコンテンツの質向上、アイデア出しのAI活用
- ・ 多様性の受け入れ、男女共同参画意識向上
- ・ 職員の市民協働意識向上

目指す方向性

- ・ 部署に捉われない働き方によって、庁内コミュニケーションをより円滑にする。
- ・ 市役所に行かなくても、家にいながら各種申請・手続きや活動ができる。
- ・ 庁内の職員が誰でも使える多言語翻訳サービスがある。
- ・ 市民一人ひとりに最適なお知らせ、行政情報の提供ができる。
- ・ 市民活動に対する興味関心が増え、市民活動が活性化している。
- ・ データに基づいた政策決定が可能になる。

3-1. 基本理念・基本原則

○ スマートシティYAIZUの実現に向けて、3つの基本理念と5つの基本原則に基づき、各取り組みを進めます。

基本理念

市民中心

- ✓ サービスを利用する市民の目線で取り組むことで、市民の幸福度（Well-being）の向上に繋がる取り組みを目指します。



課題解決・ビジョン実現

- ✓ 新技術ありきではなく、本市の課題解決やビジョンの実現を重視した取り組みを進めます。



組織・分野横断

- ✓ 組織・分野の枠を超えたデータ連携や取り組みに挑戦し、市の課題にマッチした全体最適なまちづくりを目指します。



基本原則

公平性・包摂性確保

- ✓ 必要としているすべての市民がサービスを楽しむことができるように努めます。
- ✓ さまざまな主体が参画可能なスマートシティの実現を目指します。



プライバシー確保

- ✓ データの利活用にあたっては、市民の皆様のプライバシー保護に十分な配慮を行います。



相互運用性 透明性確保

- ✓ 他地域や他システムとの相互運用機能を持たせます
- ✓ オープンなデータ流通環境を構築し、意思決定のプロセスも透明性を高めます



安心・安全、強靭

- ✓ 各システムや提供サービスの安全性を確保します
- ✓ 災害等の非常事態における継続性や回復性を確保します

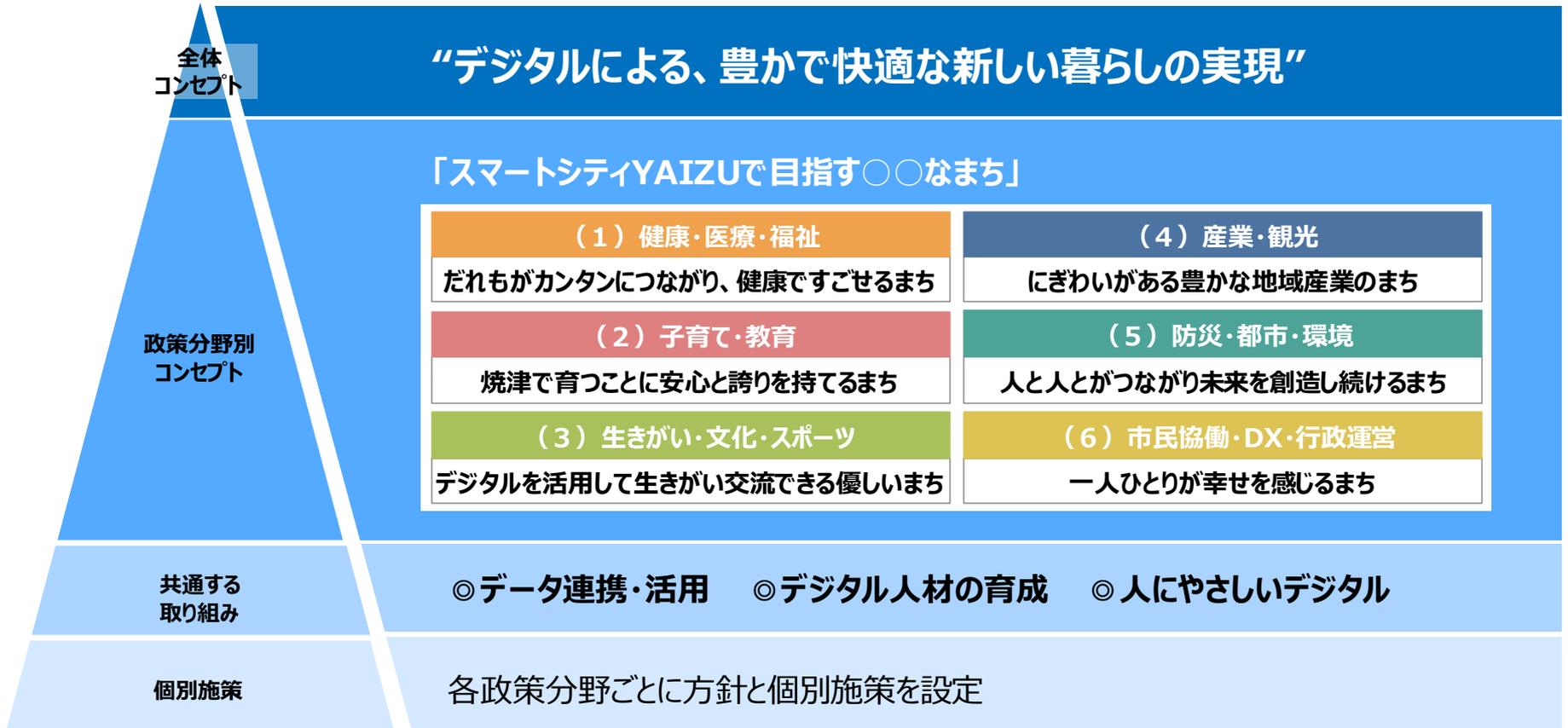


持続可能性

- ✓ 新たなサービスや事業の立ち上げにあたっては、運営面・資金面での持続可能性を確保し、地域に根差したスマートシティの実現を目指します。

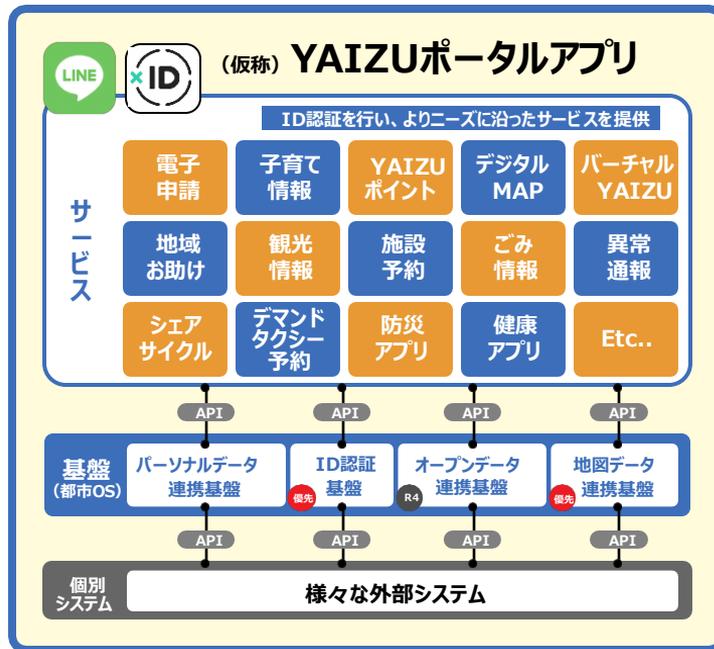


3-2. コンセプト



3-3. スマートシティYAIZUが目指すサービスのあり方①

- 焼津市で展開される各サービスを集約した市民ポータルアプリの構築を目指します。全てのサービスが共通IDで利用でき、個人のニーズに沿った情報が配信され、市民の利便性が向上します。



「もっと便利」「もっと簡単」な「個人に寄り添う」パーソナライズされたサービスを提供

3-3. スマートシティYAIZUが目指すサービスのあり方② (イメージ)

- 今後基盤整備やサービスを拡充し、各分野のデータを掛け合わせることで、これまでに新たな価値の創造を目指します。

観光×マーケティング

宿泊や購買、移動などの各データを収集
効果的な観光施策を立案

人流×モビリティ

データを基に潜在需要を発掘
バス路線拡充や新たな交通手段を検討

防災×地図情報

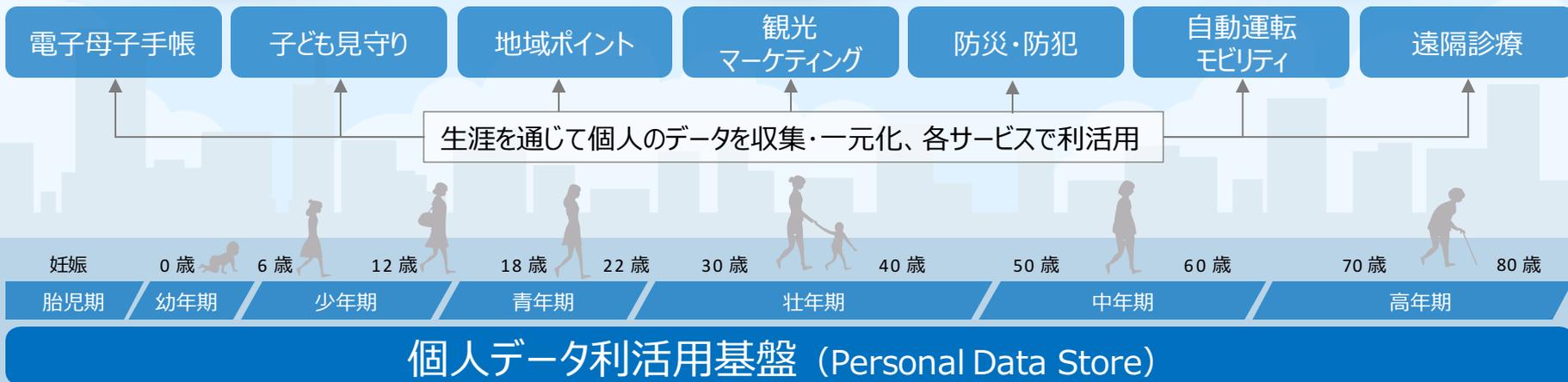
個人の状況に合った災害情報提供
マイナンバーカードで避難所チェックイン

魚×健康

魚消費量に応じた健康状態の把握
データを基にした食事メニュー開発

健康×スポーツ

認知症予防の取組推進
効果的な運動メニューをレコメンド



4-1. 施策方針・ロードマップ (1) 健康・医療・福祉

だれもがカンタンにつながり、健康ですごせるまち



施策方針

- ① AIやパーソナルデータを活用した市民の健康づくり支援
- ② 社会的孤立や健康不安解消のための「つながる」仕組みづくり
- ③ 高齢者や助けが必要な方をデジタルで見守る新たな取り組みの実施

施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
① AIやパーソナルデータを活用した市民の健康づくり支援	新規 健康管理アプリ導入検討 【健康福祉部】		健康管理アプリ機能拡充 【健康福祉部】		データ利活用検討 【市立総合病院】
② 社会的孤立や健康不安解消のための「つながる」仕組みづくり	継続 オンライン健康相談の充実 【健康福祉部】				継続
		新規 マッチングサービス（交流、共助・ボランティア）導入検討 【健康福祉部、生きがい交流部】		導入	運用
③ 高齢者や助けが必要な方をデジタルで見守る新たな取り組みの実施			新規 新たな高齢者見守りサービス導入検討 【健康福祉部】		

「だれもがカンタンにつながり、健康ですごせるまち」の実現

4-1. 個別施策 (1) 健康・医療・福祉



① AIやパーソナルデータを活用した市民の健康づくり支援

個別施策	主な取組
1. 健康管理アプリ  重点	<ul style="list-style-type: none"> 健診結果の確認や健康イベントなどを開催します。

② 社会的孤立や健康不安解消のための「つながる」仕組みづくり

個別施策	主な取組
1. オンライン健康相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大井川の「健康見える化コーナー*」のさらなる発展など、健康相談を通じた市民の健康づくりを支援します。 社会的孤立を防ぐため、地元地域等での繋がりや仲間づくりを推進し、心身のリフレッシュを図ります。
2. マッチングサービス（交流、共助・ボランティア）導入検討	

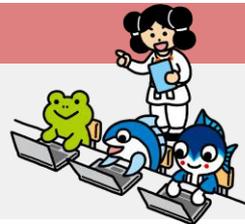
*健康見える化コーナー：大井川庁舎1階に設置されており、健康器具によるセルフチェックやリモート健康相談が可能です

③ 高齢者や助けが必要な方をデジタルで見守る新たな取り組みの実施

個別施策	主な取組
1. 新たな高齢者見守りサービス導入	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーに配慮したセンサーなどICTを活用した見守りサービスを導入、ご家族に安心を届けます。

4-1. 施策方針・ロードマップ (2) 子育て・教育

焼津で育つことに安心と誇りを持てるまち



施策方針

- ①GIGAスクール構想実現に向けた学習環境整備
- ②安心して子育て・教育ができる連絡相談手段のオンライン化
- ③焼津のまちを学べる地域デジタルコンテンツの充実

施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
①GIGAスクール構想実現に向けた学習環境整備			新規	Wi-Fi環境整備拡充（学校の全教室・未整備公共施設への拡充等） 【教育部】	
		新規	デジタル学習の拡充（デジタルドリル・AI活用等） 【教育部】		
②安心して子育て・教育ができる連絡相談手段のオンライン化		新規	学校保護者間のオンライン連絡ツール統一 【教育部・学校福祉部】		運用
		新規	オンライン相談の拡充 【こども未来部・学校福祉部・健康福祉部】		継続
	継続	オンライン手続き拡充、子育て関連通知の個別配信 【こども未来部・健康福祉部】			継続
		新規	マッチングサービス（交流、共助・ボランティア）導入検討【こども未来部、生きがい交流部】		導入
③焼津のまちを学べる地域デジタルコンテンツの充実			新規	VR/デジタル空間の活用（まち探検、工場見学） 【教育部、経済部、生きがい交流部、行政経営部】	

「焼津で育つことに安心と誇りを持てるまち」の実現

4-1. 個別施策 (2) 子育て・教育



① GIGAスクール構想実現に向けた学習環境整備

個別施策	主な取組
1. Wi-Fi環境整備拡充	<ul style="list-style-type: none"> 学校をはじめとした未整備施設・地域へのWi-fi環境整備を進め、エリアに偏りのない教育環境をつくれます。 デジタルドリルやAIを活用した教育コンテンツを拡充し、教育の質向上を目指します。
2. デジタル学習の拡充  重点	

② 安心して子育て・教育ができる連絡相談手段のオンライン化

個別施策	主な取組
1. 学校保護者間のオンライン連絡ツール統一  重点	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者を繋ぐコミュニケーションツールを整備し、紙利用を削減しながら、利便性を高めます。 子育てや教育についての悩みごとについて、専門家に相談できるなど、オンライン相談を拡充します。 保育園空き状況や子育て情報などを個人に合った情報を通知します。また「書かない窓口・行かない窓口」として、オンライン手続きを拡充し利便性を高めます。 地域の方が学校教育に関わるなど、マッチングを通じた地域間交流を促進します。
2. オンライン相談の拡充	
3. オンライン手続き拡充、子育て関連通知の個別配信	
4. マッチングサービス導入検討	

③ 焼津のまちを学べる地域デジタルコンテンツの充実

個別施策	主な取組
1. VR/デジタル空間の活用	<ul style="list-style-type: none"> VR等を使った焼津のまち探検や工場見学など、地域教育コンテンツにより郷土愛を育みます。

4-1. 施策方針・ロードマップ (3) 生きがい・文化・スポーツ

デジタルを活用して生きがい交流できる優しいまち

施策方針

- ① 生きがいづくりや交流につながる焼津ならではのオンラインコンテンツの充実
- ② 社会参加型の生きがいマッチングサービスの実施
- ③ デジタル活用をサポートする地域デジタルステーションの設置
- ④ 対面交流を促進する文化・スポーツ施設の利便性向上



施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
① 生きがいづくりや交流につながる焼津ならではのオンラインコンテンツの充実		新規 オンライン講座の充実 【生きがい・交流部】			継続
			新規 デジタルアーカイブ導入（文化財、郷土資料等） 【生きがい・交流部、教育部】		
② 社会参加型の生きがいマッチングサービスの実施		新規 VR/デジタル空間の活用（イベント等の実施） 【生きがい・交流部、経済部、教育部、行政経営部】			継続
		新規 マッチングサービス（交流、共助・ボランティア）の導入検討【生きがい交流部、健康福祉部】		導入	運用
③ デジタル活用をサポートする地域デジタルステーションの設置		新規 地域交流センターへのデジタル機器等導入 【生きがい・交流部】		運用	
④ 対面交流を促進する文化・スポーツ施設の利便性向上	継続	施設予約の利便性向上 【生きがい・交流部】			継続

「デジタルを活用して生きがい交流できる優しいまち」の実現

4-1. 個別施策 (3) 生きがい・文化・スポーツ



① 生きがいづくりや交流につながる焼津ならではのオンラインコンテンツの充実

個別施策	主な取組
1. オンライン講座の充実 重点	<ul style="list-style-type: none"> 「新元氣世代プロジェクト*」での市民講座内容を拡充し、生きがいづくりを進めます。 文化財や郷土資料等、デジタル画像として生涯学習に役立てたり、後世に情報を継承します。 VR空間等でのイベント実施や文化財紹介などにより、交流促進を目指します。
2. デジタルアーカイブ導入	
3. VR/デジタル空間の活用	

*新元氣世代プロジェクト：概ね50歳以上を「新元氣世代」と定義し、いつまでも生き生きと暮らせるよう、趣味づくりの場である「焼津おとな倶楽部」の設置などで、社会参加を支援しています

② 社会参加型の生きがいマッチングサービスの実施

個別施策	主な取組
1. マッチングサービスの導入検討 重点	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や趣味やボランティアなど、担い手と受け手をマッチングする仕組みを構築し生きがい交流を支援します。

③ デジタル活用をサポートする地域デジタルステーションの設置

個別施策	主な取組
1. 地域交流センターへのデジタル機器等導入	<ul style="list-style-type: none"> オンライン講座配信等を充実化します。またICTサポーターを配置し市民のデジタル活用をサポートします。

④ 対面交流を促進する文化・スポーツ施設の利便性向上

個別施策	主な取組
1. 施設予約の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの施設予約をはじめ、予約から施設利用、決済までスムーズに行い、利便性を高めます。

4-1. 施策方針・ロードマップ (4) 産業・観光

にぎわいがある豊かな地域産業のまち



施策方針

- ① デジタルを活用した焼津ならではの特産品販売や体験コンテンツの提供
- ② 各施設を結び快適に移動できる交通サービスの充実
- ③ 新規事業・イノベーションの創出やそれを可能にするプラットフォームづくり
- ④ 産業分野におけるデジタル活用の更なる推進

施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
① デジタルを活用した焼津ならではの特産品販売や体験コンテンツの提供	継続	体験型コンテンツの拡充支援 【経済部】			継続
		新規	焼津イベントカレンダーの公開 【経済部、行政経営部】		継続
	継続	VR/デジタル空間の活用 (ふるさと納税PR)【経済部】	VR/デジタル空間の活用 (産業体験) 【経済部、生きがい・交流部、教育部、行政経営部】		継続
② 各施設を結び快適に移動できる交通サービスの充実	継続	次世代型地域交通の検討・導入・運用 【建設部、経済部】			
③ 新規事業・イノベーションの創出やそれを可能にするプラットフォームづくり	継続	ビジネスマッチング・企業間交流・スタートアップ支援の推進【経済部】			継続
④ 産業分野におけるデジタル活用の更なる推進	継続	スマート水産業の推進 【経済部】			継続
	継続	スマート農業の推進 【経済部】			継続
	継続	民間企業のDX・人材育成支援 【経済部】			継続

「にぎわいがある豊かな地域産業のまち」の実現

4-1. 個別施策 (4) 産業・観光



① デジタルを活用した焼津ならではの特産品販売や体験コンテンツの提供

個別施策	主な取組
1. 体験型コンテンツの拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「meets!ヤイツ*」のコンテンツ拡充をはじめとして、焼津ならではの観光体験づくりを行います。 各地域で開催されるイベントについてイベントカレンダーに集約して公開します。 VR空間で焼津ならではの観光体験を提供して焼津ファンを増やし、観光客誘致や移住促進を行います。
2. 焼津イベントカレンダーの公開	
3. VR/デジタル空間の活用	

*meets!ヤイツ：一般社団法人焼津市観光協会が運営する体験型プログラム予約販売サイトです

② 各施設を結び快適に移動できる交通サービスの充実

個別施策	主な取組
1. 次世代型地域交通の検討・導入・運用	<ul style="list-style-type: none"> 新たなモビリティやシェアサイクルなどにより、市内各所に点在する観光エリアを繋ぎます。

③ 新規事業・イノベーションの創出やそれを可能にするプラットフォームづくり

個別施策	主な取組
1. ビジネスマッチング・企業間交流・スタートアップ支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内外企業とのマッチングを行い、地場産業の強化・拡大に繋がる新規事業創出を目指します。

④ 産業分野におけるデジタル活用の更なる推進

個別施策	主な取組
1. スマート水産業の推進	<ul style="list-style-type: none"> AIを活用した魚選別の取組など、各漁協の生産性向上に向けた取組支援を拡大します。 ドローンを活用した農薬・肥料散布など、AIやデジタルを活用した取組支援を拡大します。 焼津データ分析サイトを活用したデータドリブン経営など、セミナー等を通して、DX推進を支援します。
2. スマート農業の推進	
3. 民間企業のDX・人材育成支援  重点	

4-1. 施策方針・ロードマップ (5) 防災・都市・環境

人と人がつながり未来を創造し続けるまち



施策方針

- ① デジタルを活用した防災・減災対策の高度化、災害予測の高精度化
- ② 地図データ基盤整備によるまちの可視化
- ③ 市民の足となるシェアサイクルや自動運転バスなど交通手段の拡大
- ④ データ駆動型のまちづくりや環境負荷低減施策の実施

施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
① デジタルを活用した防災・減災対策の高度化、災害予測の高精度化		新規 避難所等チェックイン・安否確認 【防災部】			運用
		新規 被災者支援システム更新 【防災部・行政経営部】			運用
		新規 AI・データを活用した高度な災害予測 【防災部・建設部】			
② 地図データ基盤整備によるまちの可視化		新規 統合型GIS 【建設部、都市政策部、 上下水道部ほか】	運用		点群データ、3Dデータの利活用
③ 市民の足となるシェアサイクルや自動運転バスなど交通手段の拡大	継続				くるりん号（デマンド型乗合タクシー）の拡充検討・実施 【建設部】
	継続				次世代型地域交通の検討・導入・運用 【建設部・経済部】
④ データ駆動型のまちづくりや環境負荷低減施策の実施			新規	人流・交通量データの活用検討・データ取得・利活用 【都市政策部】	
			新規	AIを活用した道路異常や河川氾濫検知 【建設部】	
			新規	AIを活用したごみ分別支援 【市民環境部】	
			新規	ごみ集積所のデジタル管理推進 【市民環境部】	

「人と人がつながり未来を創造し続けるまち」の実現

4-1. 個別施策 (5) 防災・都市・環境



① デジタルを活用した防災・減災対策の高度化、災害予測の高精度化

個別施策	主な取組
1. 避難所等チェックイン・安否確認 重点	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやマイナンバーカードを利用した避難所受付や安否確認の仕組みを構築します。 非常事態に備えた危機管理対応のため、被災状況の一元管理等を行うシステムを適時更新します。 AIを活用した気象予報システム等の活用により災害発生を事前に予測し、被害を最小限に抑えます。
2. 被災者支援システム更新	
3. AI・データを活用した高度な災害予測 重点	

② 地図データ基盤整備によるまちの可視化

個別施策	主な取組
1. 統合型GIS 重点	<ul style="list-style-type: none"> 複数課に跨る地図データを庁内横断でデータ共用し、市民に公開。市民サービスの質を向上します。

③ 市民の足となるシェアサイクルや自動運転バスなど交通手段の拡大

個別施策	主な取組
1. くるりん号（デマンド型乗合タクシー）の拡充検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> 大井川地区で運行する“くるりん号”の運行エリアや路線の拡充し、市民の利便性を向上します。 シェアサイクルや自動運転バスなど、市民の足となる交通手段の拡大を行います。
2. 次世代型地域交通の検討・導入・運用	

④ データ駆動型のまちづくりや環境負荷低減施策の実施

個別施策	主な取組
1. 人流・交通量データの活用検討・データ取得・利活用	<ul style="list-style-type: none"> 焼津駅前周辺など、AIカメラや位置情報データを収集・活用し、再開発等のまちづくりに活かします。 AIカメラ等で市内道路の維持管理の効率化や、河川監視による防災・減災を行います。 該当ごみをカメラ撮影&AI分析で識別し、市民のごみ分別を支援します。 ごみ集積場をデータで管理することで、現場の現況確認やごみ収集の効率化を行います。
2. AIを活用した道路異常や河川氾濫検知	
3. AIを活用したごみ分別支援	
4. ごみ集積所のデジタル管理推進	

4-1. 施策方針・ロードマップ (6) 市民協働・DX・行政運営

一人ひとりが幸せを感じるまち



施策方針

- ①市役所内の業務最適化・連携強化による市民サービスの向上
- ②オンライン手続きの拡充
- ③個人や地域に最適化した情報発信
- ④対面とデジタルの「ハイブリッド型」の市民協働推進

施策方針	R5	R6	R7	R8	R9以降
①市役所内の業務最適化・連携強化による市民サービスの向上	継続	ノーコードツール、生成AIの業務での活用推進 【行政経営部】		継続	
			新規	業務用スマホ・チャット導入検討 【行政経営部・総務部】	運用
			新規	書かないワンストップ窓口導入検討 【市民環境部・行政経営部ほか】	運用
②オンライン手続きの拡充	継続	電子申請の拡充【全庁】		継続	
③個人や地域に最適化した情報発信	継続	個人宛情報のプッシュ通知、チャットボットの利活用 【行政経営部】			運用
	継続	多言語翻訳サービスの拡充 【市民環境部】			運用
	継続	デジタル回覧板等デジタル技術活用についての地元への情報提供 【総務部】			
④対面とデジタルの「ハイブリッド型」の市民協働推進	継続	市民参加オンラインツールの活用 【行政経営部、市民環境部】		運用	

「一人ひとりが幸せを感じるまち」の実現

4-1. 個別施策 (6) 市民協働・DX・行政運営



① 市役所内の業務最適化・連携強化による市民サービスの向上

個別施策	主な取組
1. ノーコードツール、生成AIの業務での活用推進  重点	<ul style="list-style-type: none"> 最新技術を庁内業務に活用し最適化することで、市民サービスに宛てる時間を増やします。 職員の業務用スマートフォンやチャット導入で、セキュリティの向上や部署間連携等を円滑化します。 来庁時の各種手続きをオンライン上で事前記入できるようにするなど、市民の利便性を高めます。
2. 業務用スマホ・チャット導入	
3. 書かないワンストップ窓口導入	

② オンライン手続きの拡充

個別施策	主な取組
1. 電子申請の拡充	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請が可能な手続きを拡充し、「書かない窓口・行かない窓口」を推進します。

③ 個人や地域に最適化した情報発信

個別施策	主な取組
1. 個人宛情報のプッシュ通知、チャットボットの利活用	<ul style="list-style-type: none"> LINEのプッシュ通知やAIチャットボットで、支援が必要な個人に最適化した情報が届くようになります。 外国人の方が漏れなく情報を受け取り、サービスを利用できるよう多言語対応化を進めます。 デジタル回覧板等で地元地域や自治会内の情報共有を円滑化し、適宜交流機会も創出します。また自治会運営の負担を軽減するなど、地域活動運営を支援します。
2. 多言語翻訳サービスの拡充	
3. デジタル回覧板等デジタル技術活用についての地元への情報提供	

④ 対面とデジタルの「ハイブリッド型」の市民協働推進

個別施策	主な取組
1. 市民参加オンラインツールの活用	<ul style="list-style-type: none"> 対面とオンラインの両面で市民の意見を収集し、市民参画の仕組みづくりを行います。

4-2. 地域幸福度 (Well-being) 向上に繋がるスマートシティを目指して

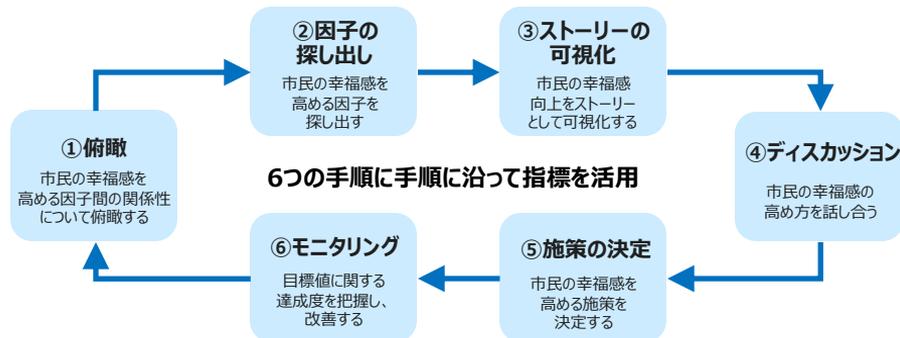
- 焼津市では地域幸福度 (Well-being) 指標アンケートを定期実施しています。今後も本指標を活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」をモニタリングしていきます。得られた結果は、施策の立案やサービス改善に活用し、より効果的な施策の展開を目指します。

■ 地域幸福度(Well-Being)指標とは

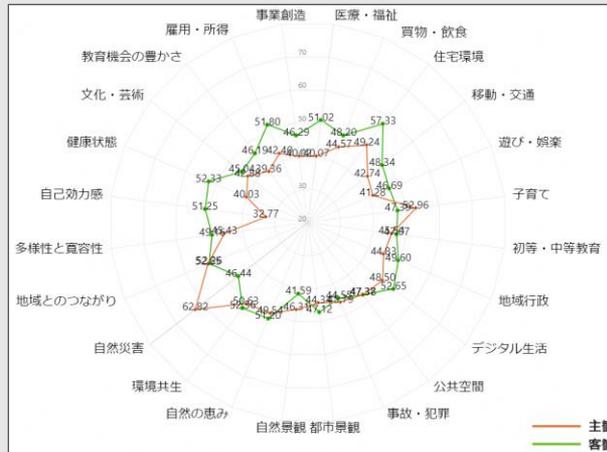
客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-being)」を指標で数値化・可視化したものです。

■ スマートシティにおけるWell-beingの活用方法

- ・スマートシティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化します
- ・市民の視点から「暮らしやすさ」と「幸福感」を表す共通指標を定義します
- ・数値化・可視化することで、自治体が「個性を磨く」機会を創出し、データ根拠に基づいた政策立案・検証を推進します



(参考) R5年度 焼津市Well-beingアンケート結果



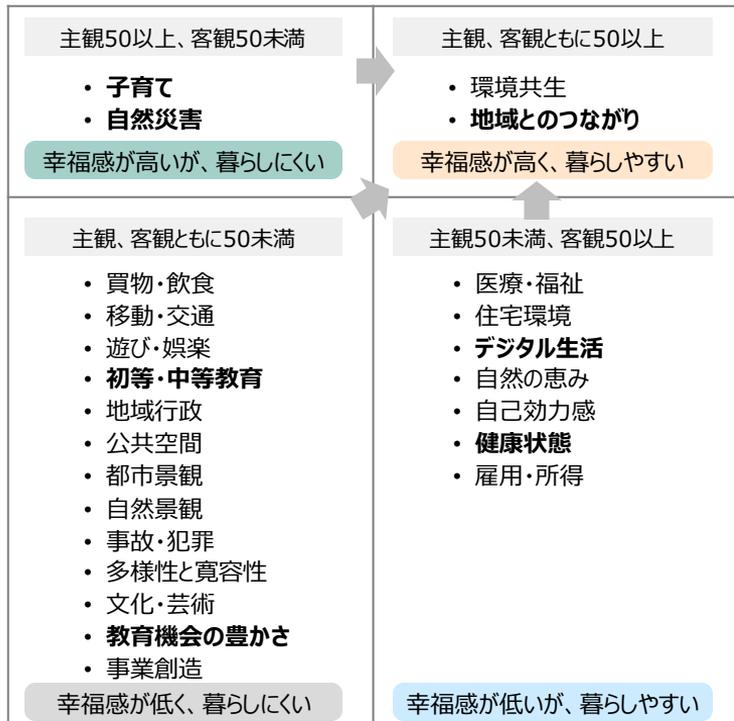
因子	主観	客観
医療・福祉	40.07	51.02
買物・飲食	44.57	48.20
住宅環境	49.24	57.33
移動・交通	42.74	48.34
遊び・娯楽	41.28	46.69
子育て	52.96	47.39
初等・中等教育	45.54	47.07
地域行政	44.83	49.60
デジタル生活	48.50	52.65
公共空間	47.37	47.38
事故・犯罪	45.79	44.55
都市景観	44.34	47.12
自然景観	46.31	41.59
自然の恵み	49.54	51.20
環境共生	50.63	52.36
自然災害	62.82	46.44
地域とのつながり	52.65	52.26
多様性と寛容性	45.43	49.16
自己効力感	32.77	51.25
健康状態	40.03	52.33
文化・芸術	42.88	45.04
教育機会の豊かさ	39.36	46.19
雇用・所得	42.40	51.80
事業創造	40.02	46.29

全国偏差値50

4-2. 地域幸福度（Well-being）向上に繋がるスマートシティを目指して

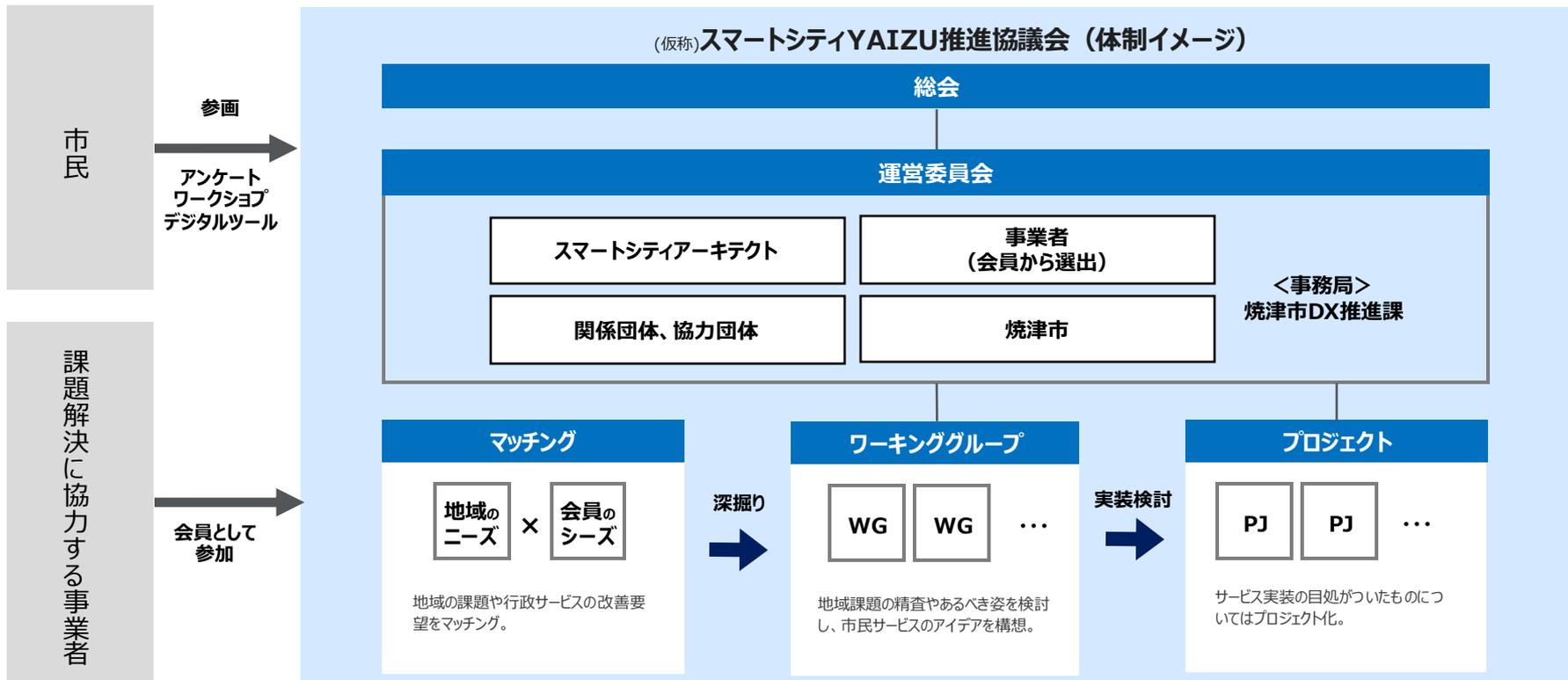
- Smart City Institute Japanで公開されているダッシュボード「令和5年度版（全国調査／個別調査）」から本市のWell-Being指標を分析。各象限の7つの因子から政策分野別の重点施策を決定。デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしとともに、地域幸福度の実現を目指します。

（参考）R5年度 焼津市Well-beingアンケート結果 全国偏差値50



5-1. 推進体制

- 本市の課題解決を目的としたサービス実装を一層進めるため、スマートシティYAIZU推進検討会の体制を発展させ、市内外の民間事業者を会員とした「スマートシティYAIZU推進協議会」の設立を目指します。

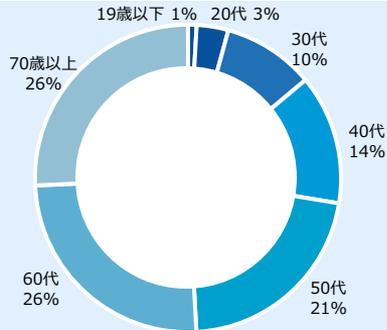


參考資料

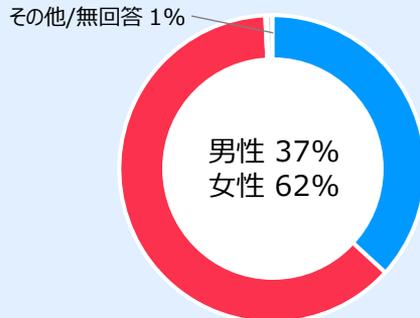
市民アンケート結果

- 方法 : Webアンケート
- 周知方法 : 市公式LINE、チラシ配布等
- 期間 : 2023年7月10~24日の15日間
- 回答数 : 1,881件

Q2 年齢について



Q1 性別について



Q4 職業について

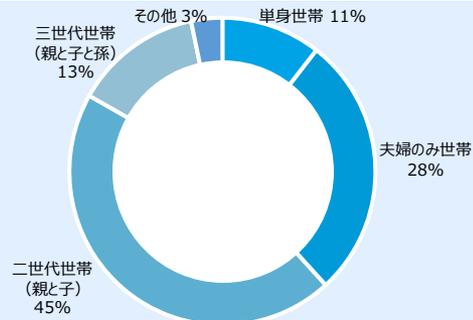


Q3 お住まいについて

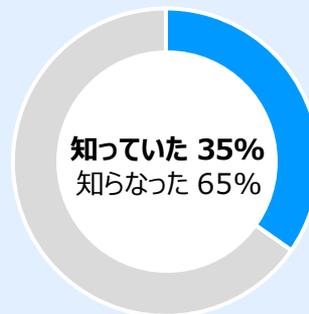


市民アンケート結果

Q5 世帯構成について



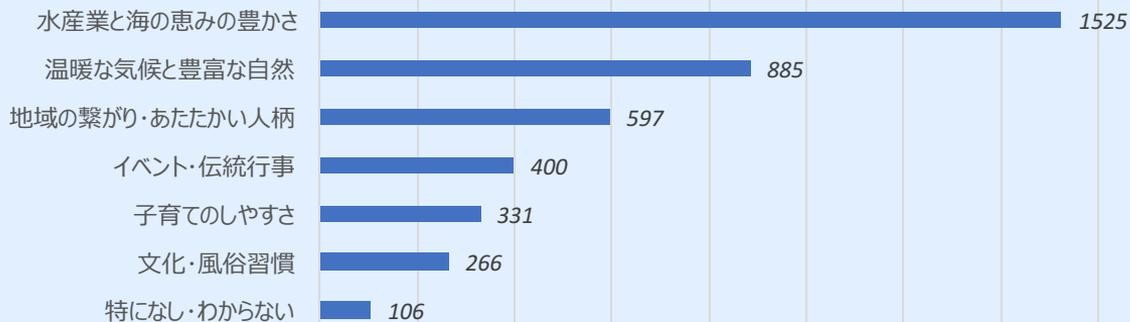
Q6 スマートシティという言葉について



Q7 スマートシティYAIZUの産業観光と防災の取り組みについて



Q8 焼津らしさについて



その他ご意見

- ・市民活動団体やマルシェを企画運営するなど自発的な行動力のある人が多い
- ・先進性がある
- ・外国にルーツのある方が多い
- ・不動産が安価
- ・適度な人口、混雑しない道路
- ・深海魚
- ・刺し身が美味しい
- ・食べ物のおいしさ
- ・漁業の街など

市民アンケート結果

Q9 スマートシティ推進にあたり期待する分野について

	焼津地区	大村地区	豊田地区	小川地区	港地区	東益津地区	大富地区	和田地区	大井川地区
健康・医療（健康医療データを使った健康アドバイスや遠隔診療など）	162 50.2%	87 56.9%	122 44.4%	91 46.9%	79 42.7%	71 52.6%	159 57.2%	58 55.2%	97 49.5%
福祉・介護（センサーによる見守りや介護ロボットなど）	110 34.1%	59 38.6%	114 41.5%	63 32.5%	65 35.1%	51 37.8%	103 37.1%	41 39.0%	74 37.8%
子育て（SNSでの子育て関連情報の通知や子ども見守りサービスなど）	73 22.6%	26 17.0%	76 27.6%	46 23.7%	30 16.2%	20 14.8%	48 17.3%	6 5.7%	40 20.4%
教育（AIを活用した教材の活用や学校連絡のオンライン一元化など）	39 12.1%	30 19.6%	55 20.0%	27 13.9%	25 13.5%	18 13.3%	30 10.8%	4 3.8%	32 16.3%
生きがい・文化・スポーツ（リモート講座・デジタル美術館・eスポーツなど）	66 20.4%	27 17.6%	51 18.5%	36 18.6%	34 18.4%	25 18.5%	45 16.2%	19 18.1%	32 16.3%
農業（ドローンによる農薬散布や無人トラクターなど）	10 3.1%	8 5.2%	10 3.6%	6 3.1%	5 2.7%	7 5.2%	19 6.8%	8 7.6%	5 2.6%
水産業（魚種判別AIや漁場予測AIなど）	20 6.2%	4 2.6%	14 5.1%	10 5.2%	15 8.1%	5 3.7%	13 4.7%	7 6.7%	5 2.6%
観光・商業（観光客の宿泊・購買データを用いたマーケティングなど）	63 19.5%	28 18.3%	53 19.3%	44 22.7%	29 15.7%	24 17.8%	54 19.4%	20 19.0%	35 17.9%
新産業創出（事業者マッチングによる新製品開発など）	12 3.7%	1 0.7%	7 2.5%	3 1.5%	5 2.7%	4 3.0%	8 2.9%	2 1.9%	5 2.6%
交通（自動運転や新たな交通手段の拡充など）	52 16.1%	27 17.6%	40 14.5%	34 17.5%	44 23.8%	30 22.2%	58 20.9%	26 24.8%	49 25.0%
防犯・安心（AIを使った防犯カメラや空き家対策など）	63 19.5%	33 21.6%	59 21.5%	51 26.3%	41 22.2%	23 17.0%	57 20.5%	26 24.8%	41 20.9%
環境・エネルギー（省エネへの推進や家庭ごみ回収の効率化など）	33 10.2%	20 13.1%	27 9.8%	13 6.7%	20 10.8%	12 8.9%	32 11.5%	16 15.2%	14 7.1%
防災（災害情報のリアルタイム通知や被災者支援など）	101 31.3%	43 28.1%	72 26.2%	56 28.9%	58 31.4%	52 38.5%	75 27.0%	36 34.3%	58 29.6%
地域コミュニティ（デジタル回覧板や公民館でのオンライン交流など）	33 10.2%	16 10.5%	42 15.3%	25 12.9%	29 15.7%	14 10.4%	23 8.3%	14 13.3%	15 7.7%
行政（電子申請の拡充や行政手続きの効率化など）	34 10.5%	15 9.8%	34 12.4%	19 9.8%	25 13.5%	18 13.3%	36 12.9%	9 8.6%	12 6.1%
仕事・働き方（テレワーク普及やAI・ロボット活用による作業効率化など）	21 6.5%	3 2.0%	20 7.3%	14 7.2%	13 7.0%	8 5.9%	18 6.5%	8 7.6%	12 6.1%
物流（ドローンやAIを活用した効率的な荷物配送など）	16 5.0%	2 1.3%	6 2.2%	4 2.1%	9 4.9%	3 2.2%	8 2.9%	2 1.9%	6 3.1%
その他	5 1.5%	1 0.7%	1 0.4%	3 1.5%	1 0.5%	3 2.2%	3 1.1%	3 2.9%	5 2.6%

市民アンケート結果

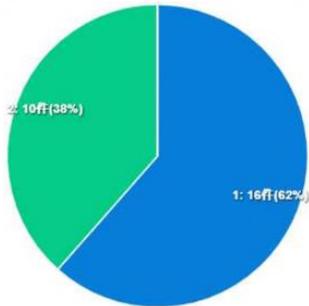
Q10 焼津市を魅力的なまちにするために力をいれたほうがよいところ

	焼津地区	大村地区	豊田地区	小川地区	港地区	東益津地区	大富地区	和田地区	大井川地区
子育てのしやすさ	145 44.9%	61 39.9%	138 50.2%	79 40.7%	70 37.8%	40 29.6%	108 38.8%	27 25.7%	82 41.8%
教育環境	84 26.0%	38 24.8%	68 24.7%	40 20.6%	40 21.6%	22 16.3%	73 26.3%	12 11.4%	45 23.0%
医療機関の充実	166 51.4%	80 52.3%	144 52.4%	86 44.3%	103 55.7%	71 52.6%	152 54.7%	55 52.4%	97 49.5%
福祉の充実	141 43.7%	65 42.5%	122 44.4%	80 41.2%	81 43.8%	70 51.9%	128 46.0%	48 45.7%	89 45.4%
公共施設の充実	96 29.7%	44 28.8%	94 34.2%	60 30.9%	51 27.6%	36 26.7%	81 29.1%	22 21.0%	44 22.4%
住環境	83 25.7%	42 27.5%	67 24.4%	38 19.6%	43 23.2%	31 23.0%	68 24.5%	30 28.6%	37 18.9%
交通の便	104 32.2%	55 35.9%	106 38.5%	57 29.4%	84 45.4%	56 41.5%	109 39.2%	46 43.8%	86 43.9%
買い物の便利さ	114 35.3%	47 30.7%	94 34.2%	63 32.5%	69 37.3%	44 32.6%	91 32.7%	27 25.7%	82 41.8%
就業機会の多さ	55 17.0%	27 17.6%	50 18.2%	38 19.6%	29 15.7%	23 17.0%	38 13.7%	12 11.4%	27 13.8%
交通安全	42 13.0%	13 8.5%	34 12.4%	15 7.7%	18 9.7%	14 10.4%	44 15.8%	7 6.7%	21 10.7%
防犯対策	63 19.5%	35 22.9%	73 26.5%	30 15.5%	40 21.6%	25 18.5%	56 20.1%	30 28.6%	51 26.0%
災害への備え	171 52.9%	89 58.2%	129 46.9%	91 46.9%	97 52.4%	74 54.8%	135 48.6%	52 49.5%	86 43.9%
特になし・わからない	10 3.1%	0 0.0%	4 1.5%	6 3.1%	7 3.8%	3 2.2%	5 1.8%	4 3.8%	1 0.5%
その他	12 3.7%	6 3.9%	7 2.5%	4 2.1%	5 2.7%	2 1.5%	11 4.0%	1 1.0%	7 3.6%

市民ワークショップ開催報告

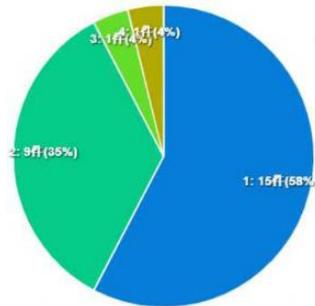
- 日時 : 2023年9月23日 (日) 10:00~12:00
- 会場 : 市役所 本庁舎 1階会議室1B
- 参加者 : 26名 (本市に在住または通勤・通学している方)
- 内容 :
 1. DX推進課から「スマートシティYAIZUの取り組み」紹介
 2. パネルディスカッション
 3. 焼津で叶えたい理想や夢について語るワーク
 4. 推進方針のコンセプト案の各施策に対して、具体案を提案するワーク

問1 ワークショップに参加した感想を教えてください



No.	選択肢	人数
1	とてもよかった	16人
2	よかった	10人
3	どちらともいえない	0人
4	あまりよくなかった	0人
5	よくなかった	0人

問2 スマートシティYAIZUについて理解できましたか



No.	選択肢	人数
1	とても理解できた	15人
2	理解できた	9人
3	どちらともいえない	1人
4	あまり理解できなかった	1人
5	理解できなかった	0人

参加者コメント

- ・視点の異なる意見がたくさなり、気付かされる点があった。色々な立場のアイデアを募ることは良いことだと感じた。
- ・自分の出した質問や意見が、反映されている感じがして嬉しかった。楽しく参加することができた。
- ・普段、気にしていないことに気づかせてもらった。高校での探究活動に活かしていきたい。等



オンラインプラットフォームでの市民アイデア収集

- 期間 : 2023年9月5日～
- 内容 : 1. 焼津市で暮らす上で実現してほしい理想や夢は？
2. 『こんな焼津市の未来は嫌だ』どう考える？
3. 9/23WSの焼津市説明・パネルディスカッションでこんなことを感じました！
4. 気になる！スマートシティYAIZUのこの取り組み！
5. あつらいいな、こんな健康アプリ
6. 推進方針(案)に関する意見募集

スマートシティYAIZU推進方針策定にあたり、「オンライン参加型合意形成プラットフォーム Liqid (株式会社Liquitous)」を活用し、市民アイデアを収集いたしました。過去6つの問いを設定しましたが、これまで具体的に約●●件のアクセスや●●件のアイデア投稿(市民ワークショップでの利用含む)がありました。今後もスマートシティ推進にあたり、各サービス検討においてご意見を伺うなど、市民協働を重視しながら、市民目線でのスマートシティづくりを進めてまいります。

